

登録事業者「浜松倉庫株式会社」を取材してきました！

浜松倉庫株式会社（以下当社）は、浜松市中区に本社を構え、倉庫・運送事業をベースにした総合物流事業に加えて、駐車場運営、地ビールレストラン（マインシュロス）など幅広い事業を展開しています。事業の根幹には「モノ、自動車、人を集積する拠点を提供することがこの地域の活性化につながり、その先に自社の発展がある」という思いがあるので、お客様の信頼をお預かりしているという意識を非常に大切にしているそうです。社員119名のうち約50%が女性で、全社員の平均年齢は35歳、毎年新入社員の採用も積極的に行っており、今年



（2022年4月）の新入生5名のうち4名が女性です。現在女性の管理職はフォークリフトが操縦できる現場にありますが、活躍してくれる女性の人数は今後増やしていきたいと考えています。

■SDGsの取り組みについて

物流倉庫業として



9. 倉庫業がサプライチェーンにおける重要インフラとしてあり続ける

11. 倉庫業が都市機能の一つとして災害時の拠点になるなど、まさに必要不可欠な機能であり続ける

会社組織として



4. 直接業務に係ること以外の内容も含め、人間力を高める従業員教育を体系的に実施していく

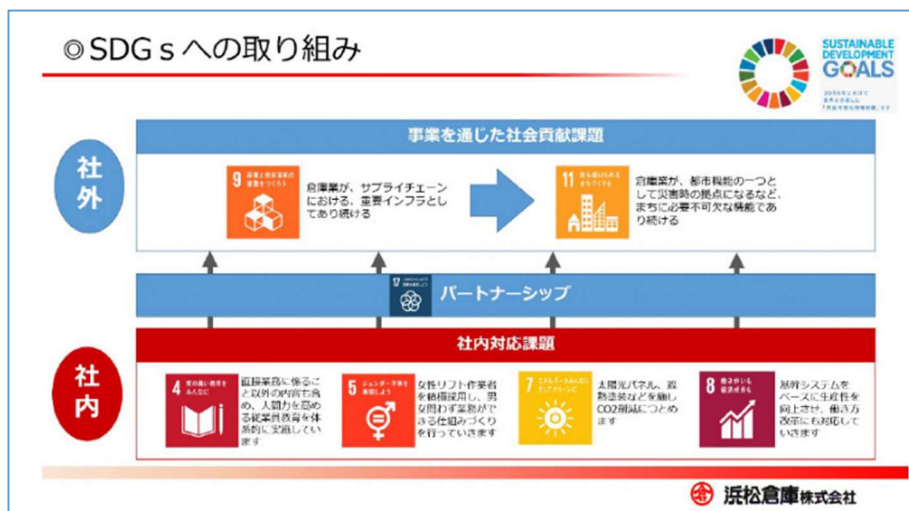
5. 女性リフト作業者を積極採用し、男女問わず業務ができる仕組みづくりを行っていく

7. 太陽光パネル、遮熱塗装などを施し、CO2削減につとめていく

8. 基幹システムをベースに生産性を向上させ、働き方改革にも対応していく

17. お客様や地域にパートナーシップで関わっていくのが当社の社員の役割

もともと仕事を通して地域に役に立つことを実践してきた当社でしたが、最近改めてSDGsでの紐付けをし、ホームページ上でも公開をしています。今後は倉庫内のロボット化や、AIの導入、システム性能を上げることで倉庫業としてのDX化をしていきたいと考えているそうです。



■女性の活躍について

フォークリフトに乗って業務にあたる社員は現在76名おり、そのうち20名が女性で約26%の比率です。業界全体でも人手不足問題は常にあるので、社員に長く勤めてもらえる環境を整えるのは当社にとっても優先順位の高い課題です。性別や年齢に関係なく、体への負担は極力かからない方法で仕事ができるように、現場からの提案で作業補助機器も整えています。当社で業務にあたっている宮本さんにインタビューをしました。宮本さんが入社した16年前は、現場に女性はおらず事務を担当するものと思っていたそうですが、気付くと現場に配属されフォークリフトの免許を取る流れになっていたと振り返ってくれました。現場の同僚は技術面では指導しつつも、宮本さんを全く特別扱いせず、当たり前前の事としてここまで普通に勤務してきたそうです。逆に取材などで「当社で初の女性の・・・」といわれることに違和感を覚えてしまうとも話されました。目の前の仕事に手を抜かず精いっぱいやってきた積み重ねが評価されて現在「班長」を任されていますが、プレッシャーや責任も痛感しているとのこと。宮本さんの周りには女性社員の宮本さんへのまなざしも温かく、職場で誰もが自由に発言しあえる空気を感じました。取材日、技術指導で全拠点の巡回指導にあたっている中安さんにもお会いできました。宮本さんが新人時代同じ拠点に勤務しており成長を間近で見ただけに、今でも巡回時色々な話をするそうです。



写真左：宮本さん 右：中安さん

■最近の NEWS

2022年5月に第3回目となる当社のフォークリフトコンクールが開催されました！

基本操作の徹底、リフト操作のスキルアップを目的に、技術指導にあたる中安さんが発案して社内で行い始めましたが、3回目となる今回は各拠点の対抗意識も手伝ってかかってないほどコンクールは白熱したそうです。入賞者には副賞はもちろん、通常のヘルメットシールにクラウンマークのシールが追加されます。色々なタイプのフォークリフトがありますが、それぞれの操作が一定レベルになると各自のヘルメットに貼るシールが授与されます。5タイプのシールが揃う＝技術力の高さが可視化される為、日々の仕事の励みにもなるそうです。静岡県トラック協会陸災防主催のフォークリフトコンクールでも当社は上位入賞者を選出しており技術を上げ5S・3定（定性・定量・定位置）のレベルを上げるモチベーションは非常に高まっています。



ヘルメットシール

■今後取り組んでいきたい事

仕事を通して地域に役に立つことを実践していく為に、倉庫のDX化を考える事と、当社で働いてくれている社員の働き甲斐や働きやすさ（ウェルビーイングや女性活躍といったジェンダーフリー）の追求を両輪で今後も進めていきたいと考えています。